年間授業計画　新様式例

高等学校　令和６年度（２学年用）　教科　　国語　　科目　古典探究

教　科：　国語　　科　目：　古典探究　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　3.4.5.7.8.9組

使用教科書：（ 古典探究 古文編（数研出版）　　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　古典探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
(1)　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，　我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	B 単元 【知識及び技能】 ・歴史的仮名遣いの決まりを理解し、古文を読むための力を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典作品が持つ価値について、本文の性質や特徴から読み取る力を身に着けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・歴史的仮名遣いを理解し、古文作品の面白みに触れようという感覚を身に着けさせる。	・指導事項 歴史的仮名遣い 動詞の活用 過去の助動詞 敬語の概念 ・教材 大江山（十訓抄） 大江山（古今著聞集）			○	【知識及び技能】 ・文章の意味が文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典を読むために必要な文法的なきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・自らの社会生活に根付いている国語の知識や技能から、言語文化についての考えを持ち、それを周囲に効果的に伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深め、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。	○	○	○	12
	C 単元 【知識及び技能】 ・古典を読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の叙述を読み、話の展開や面白みを理解することができる。 ・同一出典の作品を読み比べることで、それぞれが持つ価値や特性を理解し、それを言語化して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を鑑賞し自らの考えを持ったうえで、他者との交流を通して学びを深めようという姿勢を身に着けさせる。	・指導事項 形容詞・形容動詞活用 係り結び 打消、完了の助動詞 文学史 ・教材 土御門亭の秋（紫式部日記） 清少納言と紫式部（無名草子）			○	【知識及び技能】 ・文章の意味が文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典を読むために必要な文法的なきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深め、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。	○	○	○	15
2学期	C 単元 【知識及び技能】 ・文中で用いられている難語を理解することで、語感を磨くとともに語彙を豊かにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の叙述を読み、話の展開や面白みを理解することができる。 ・同一出典の作品を読み比べることで、それぞれが持つ価値や特性を理解し、それを言語化して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を鑑賞し自らの考えを持ったうえで、他者との交流を通して学びを深めようという姿勢を身に着けさせる。	・指導事項 修辞法・文学史・敬語 助動詞「む」「べし」「る」「らる」「まし」 ・教材 花山天皇の出家（大鏡） 村上天皇と安子（大鏡）			○	【知識及び技能】 ・文章の意味が文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典を読むために必要な文法的なきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深め、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。	○	○	○	12
	D 単元 【知識及び技能】 古典を読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・同一出典の作品を読み比べることで、それぞれが持つ価値や特性を理解し、それを言語化して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を鑑賞し自らの考えを持ったうえで、他者との交流を通して学びを深めようという姿勢を身に着けさせる。	・指導事項 敬語・音便・文学史 助動詞 ・教材 壇ノ浦（平家）			○	【知識及び技能】 ・文章の意味が文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典を読むために必要な文法的なきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深め、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。	○	○	○	15

3学期	E 単元 【知識及び技能】 古典を読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・同一出典の作品を読み比べることで、それぞれが持つ価値や特性を理解し、それを言語化して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品を鑑賞し自らの考えを持ったうえで、他者との交流を通して学びを深めようという姿勢を身に着けさせる。	・指導事項 文学史・敬語 助動詞総復習 ・教材 光源氏の誕生（源氏物語） ・一人１台端末の活用　等 Teamsを用いた、リフレクションシートの活用				【知識及び技能】 ・文章の意味が文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典を読むために必要な文法的なきまりや、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深め、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとしている。	○	○	○	16
										合計 70